

コンバージョン測定機能 設定ガイド

はじめに

オーバーチュアのコンバージョン測定機能は、お客様のサイトにおいて、商品購入、サイト登録、コンテンツ購読、メールマガジン登録などの取引を完了したインターネットユーザーをトラッキングし、コンバージョン数、コンバージョン率、コンバージョンコストを算出する効果測定ツールです。コンバージョン測定機能タグが正しく挿入されると、24 時間以内に管理画面にデータを表示できるようになります。

コンバージョン測定機能では、インターネットユーザーがお客様の掲載内容をクリックしたときに、各ユーザーのブラウザに Cookie を挿入します。そのインターネットユーザーがお客様のサイトの取引完了ページに進むと、固有のタグがコンバージョンイベントを起動し、Cookie を読み取って、最後にクリックした掲載内容を判断します。この情報は管理画面に表示されます。

サイトでコンバージョンを把握するには、この設定ガイドで説明する数行のコードをタグとして追加する必要があります。その設定方法は、設定ガイド中の「タグの記述方法」で説明しています。また、このガイドでは以下に示すテクノロジーに固有のタグの記述方法も説明しています。

- Active Server Pages (Microsoft Visual InterDev)
- Java Server Pages (ATG Dynamo, BEA WebLogic, ColdFusion MX)
- PHP: Hypertext Preprocessor

このガイドでは、コンバージョン測定機能タグを設定するために、HTML や Web に関する知識があることを前提としています。これらの知識がない場合は、Web 管理者に相談してください。

なお、コンバージョン測定機能は Yahoo! JAPAN が提供する「Yahoo! ショッピング」のストア内ではご利用いただけません。

利用サイト要件

コンバージョン測定機能をご利用ためのサイトの要件は次のとおりです。

- 標準の HTML がサポートされていること
- コンバージョン測定機能タグが取引完了ページに挿入されていること

なお、コンバージョンをコンバージョン測定機能で適切に追跡するには、各インターネット利用者のブラウザで、イメージ表示、JavaScript、および Cookie の各機能が有効になっている必要があります。

用語説明

タグ: HTML コードの一部

コンバージョン: インターネットユーザーがオーバーチュアの広告をクリックし、お客様のサイトを訪問して購入や登録などの取引が完了すること。商品購入、メールマガジン登録、購読、その他サイト上で行う各種手続きの完了等の1件の取引が1コンバージョンに相当

取引完了ページ: 取引の完了を確認するために表示されるお客様のサイトにあるページ。たとえば、購入や登録が完了したときに表示するページのこと。

タグの入手方法

まず、専用タグを入手するには、管理画面にログインして[アカウント管理]タブを開き、効果測定と書かれたリンクより、お客様のアカウント専用のコンバージョン測定機能タグを入手します。

なお、このコンバージョン測定機能タグは変更しないでください。変更するとタグが正常に機能しなくなり、データが正常に収集できなくなるおそれがあります。

一般的なサイトへのタグの挿入箇所

コンバージョン測定タグは、Web サイトの<Head>と</Head>の間に挿入します。挿入したらファイルを保存し、サーバーにアップロードし直します。

一般的なサイトへのタグの設定例

※青の部分が専用タグ

```
<html>

<head>
<title>お申し込みありがとうございました</title>

<SCRIPT language="JavaScript" type="text/javascript">
<!-- Overture K.K.
window.ysm_customData = new Object();
window.ysm_customData.conversion = "transld=,currency=,amount=";
var ysm_accountid = "XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX";
document.write("<SCR" + "IPT language='JavaScript' type='text/javascript' "
+ "SRC=//" + "srv2.wa.marketingsolutions.yahoo.com" + "/script/ScriptServlet" + "?aid=" + ysm_accountid
+ "></SCR" + "IPT>");
// -->
</SCRIPT>

</head>

<body>
~~~~~
Web サイトのコンテンツ
~~~~~
</body>

</html>
```

その他のサイトへのタグの記述方法

コンバージョン測定機能は、取引完了ページが静的、または動的に生成されているどちらの場合でも動作します。

動的に生成されたページでのタグの記述

動的に生成されたページにコンバージョン測定機能タグを追加するときは、ページのテンプレートにタグを挿入してください。テンプレートを使用していない場合は、静的ページの HTML コード内にタグを挿入してください。タグを追加するには、サーバーで SSI (server side includes) が提供されている場合は include 文を使用するか、あるいは単にページのヘッダーセクションでタグを記述してください。

JavaScript を使用している場合のインクルード

JavaScript の include 文を使用して取引完了ページにコンバージョン測定機能タグを挿入する場合は、ファイルに保存する前に、先頭と末尾の <Script> タグを削除します。JavaScript で include を使用する場合、この処理を行わないとコンバージョン測定機能タグが正しく機能しません。また、ファイルのパスを正しく指定しなかった場合、インクルードに失敗します。

注: `<script language="javascript" src="conversion_counter.js"></script>`

セキュリティで保護されているページと保護されていないページ

コンバージョン測定機能タグは、セキュリティで保護されているページ (https:) と保護されていないページ (http:) の両方で使用できます。タグではプロトコル (https: または http:) を検出し、セキュリティのレベルに関係なく、すべてのページで一定の動作をするよう調整します。

Active Server Page (ASP) の場合の設定方法

マイクロソフトの Visual InterDev または ASP を使用したサイトをご利用の場合は、以下をご参照ください。Visual InterDev では、静的方法(HTML)、動的方法(ASP)のどちらでもサイトを作成できます。一般的には、取引処理(購入、登録)では、サイトにおけるインターネットユーザーのセッション中に動的に生成される ASP が使用されます。ここでは、ASP を使用してコンバージョン測定機能タグを設定し有効にする方法について説明します。

ご注意: IDE(integrated development environment)のバージョンは 1.0 から 6.0 までありますが、ここでの説明はすべてのバージョンに適用されます。

設定手順

1. Visual InterDev を開いて、購入確認など、取引完了のページを指定してください。IF..ELSE 文を使用して同じ ASP ページから複数のページが生成されている場合は、取引完了ページを生成するのに使用されたセクションに移動してください。
2. ドキュメントの<HEAD>タグと</HEAD>タグの間を指定してください。
3. 次の 2 つのオプションから選択してください。

オプション 1:

コンバージョン測定機能タグをドキュメントのヘッダーセクションに直接コピーし、貼り付けてください。その際このタグを既存のタグ内に貼り付けないように注意します。

オプション 2:

サーバー側の include 文を使用することもできます。ページをインターネットユーザーのブラウザ側に返す前に、include 文によってコンバージョン測定機能タグが挿入されます。このタグのファイル(conversion_counter.js)をサーバーに保存して、場所をメモしておきます。次の例では、サイトのルートディレクトリにフォルダ"Overture" が作成されています。取引完了ページに戻り、ヘッダーセクション内に、コンバージョン測定機能タグのファイルを指定する include 文を挿入してください。

タグの設定例:

```
<%@ Language=VBScript %>

<head>

  <title>購入確認</title>

  <!-- #include file=" ../overture/conversion_counter.js" -->

</head>

<body bgcolor="#ffffff">

  <h1>購入確認ページ</h1>

</body>
```

※Include 文は、ASP ページにある他のすべての部分よりも先に処理されるため、インクルードするファイルの位置を指定する際に変数は使用できません。

4. 編集した取引完了ページを保存してください。

JAVA SERVER PAGE (JSP) の場合の設定方法

独自でサイトを開発され、次の JSP ツールを使用されている場合は、以下をご参照ください。

- ATG Dynamo
- BEA WebLogic
- ColdFusion MX

JSP は、サイトにおけるインターネットユーザーセッション中に動的に生成されます。ここでは、JSP を使用してコンバージョン測定機能タグを実装し有効にする方法について説明します。以下の手順を実行する前に、このガイドの前半で説明している「タグの記述方法」について理解してください。

注: JSP のコーディングの構文には、環境によって若干の相違がありますが、ここでの説明はすべての場合に適用されません。

設定手順

1. JSP エディタを使用して、購入確認ページや登録確認ページ、完了ページなど、取引完了ページを指定してください。条件文を使用して同じ JSP ページから複数のページが生成されている場合は、取引完了ページを生成するセクションに移動してください。
2. ドキュメントの<HEAD>タグと</HEAD>タグの間のヘッダーセクションを指定してください。
3. 次の 2 つのオプションから選択してください。

オプション 1:

コンバージョン測定機能タグをドキュメントのヘッダーセクションに直接コピーして貼り付けしてください。このタグを既存のタグ構造に貼り付けないように注意してください。

オプション 2:

サーバー側の include 文を使用することもできます。インターネットユーザーのブラウザ用として組み立てられ、include 文によってコンバージョン測定機能タグが挿入されます。オーバーチュアタグのファイル(conversion_counter.js)をサーバーに保存して、場所をメモしておきます。次の例では、サイトのルートディレクトリに“Overture”フォルダが作成されています。取引完了ページに戻り、ヘッダーセクション内にコンバージョン測定機能タグファイルを指定する include 文を挿入してください。

タグの設定例:

```
<%@ taglib uri="/dspTaglib" prefix="dsp" %><dsp:page>  
<html>
```

<head>

```
<title>購入確認</title>
```

```
<dsp:include src="../overture/conversion_counter.js"/>
```

</head>

```
<body bgcolor="#ffffff"><h1> 購入確認ページ</h1>
```

```
</body>
```

```
</html>
```

4. 編集した取引完了ページを保存してください

HYPERTEXT PREPROCESSOR (PHP) の設定方法

確認ページや完了ページに書き込まれたタグを PHP を使用して取得されている場合は、以下をご参照ください。
登録時に受け取った(または管理画面から取得した)JavaScript コードをサーバー上のファイルに保存してから、数行の PHP スクリプトを HTML のヘッダーセクションに追加する必要があります。

1. ファイルとして受け取った JavaScript を保存します。この例では、“overture_cc.js” を保存します。
2. このファイルをサーバー上の任意の場所に格納します。たとえば、“/javascript/overture_cc.js” として格納します。
3. 3 確認ページまたは完了ページを編集して、次の PHP スクリプトを追加します。

```
<?PHP$filename = "javascript/overture_cc.js";$fp = fopen($filename,'r');if ($fp) {  
  $js = fread($fp,filesize($filename));echo($js);fclose($fp);  
}  
<?>
```

なお、上記のスクリプト内のファイル名変数に指定される値は、次の 3 つの項目に応じて決まります。

- 1)オーバーチュアから受け取った JavaScript ファイルの名前
- 2)オーバーチュアから受け取った JavaScript ファイルの格納場所
- 3)確認ページまたは完了ページのテンプレートの格納場所を基準とした、JavaScript ファイルの相対的な格納場所

上記の例で示すように、確認ページまたは完了ページと同じディレクトリ内に javascript という名前のディレクトリ(フォルダ)があり、そのフォルダ内に“overture_cc.js”という名前のファイルがあります。この処理の実行方法がわからない場合は、Web 管理者にお問い合わせください。